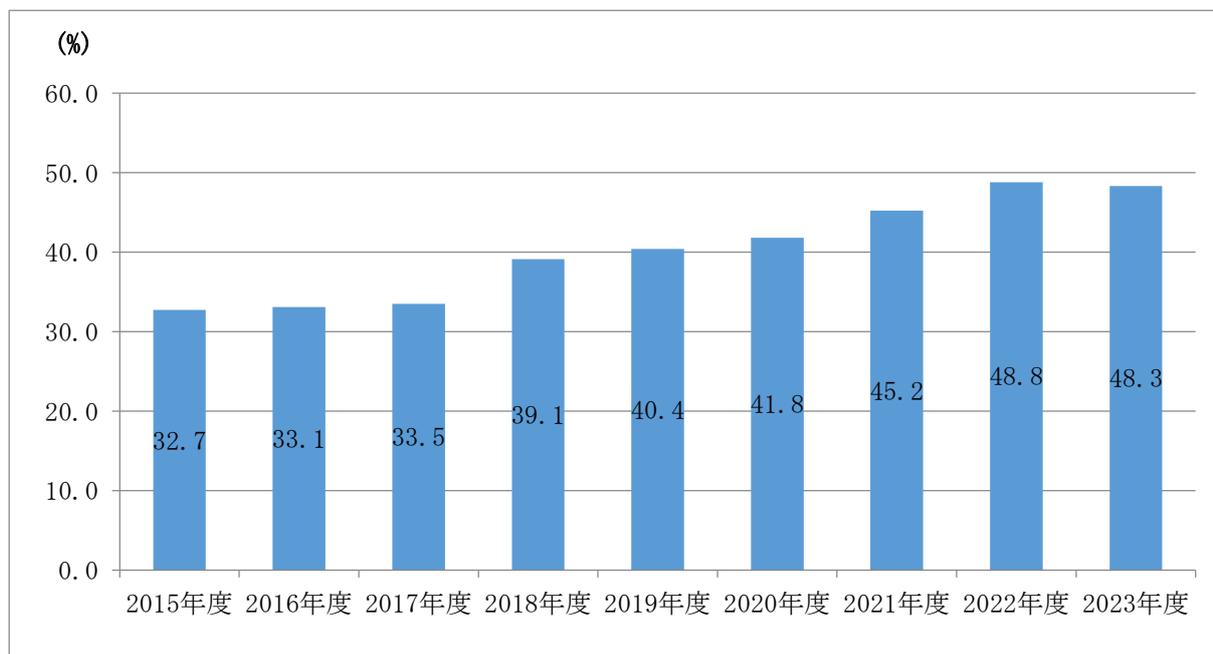


入院患者におけるリハビリテーション実施率



入院、発症、術後早期よりリハビリテーションが実施されることで患者の機能回復、合併症の予防、早期退院などの効果は多大であり、その必要性は高い。一般に急性期病院では入院患者の10~20%がリハビリテーションを受けていることで病院の質の向上につながると言われているが、当院のリハビリ実施率は2023年度には48.3%であり、入院患者の約半数がリハビリテーションを実施している。

データ提供 リハビリテーション部